

# 増設しよう！USB電源ポートを

D.I.Y

で

スマホ類の充電環境整つますか？

車内でのスマホの充電に欠かせないUSBポート。

最新の車両では標準装備されつつあるが、

一部車種(グレード)では設置されていなかったり、  
前席にはあるが後席にはなかったり……。

そこでD.I.Yで比較的簡単にUSBポートを  
設置する方法を紹介します！

使用するのは

- USB電源ポート  
(2ポート)  
オープン価格  
(参考価格2500円前後)

- USB電源ポート  
(1ポート)  
オープン価格  
(参考価格1400円前後)

▲USB電源ポートを使いやすい場所に両面テープで貼り付けて設置できるアイテム。1ポートは最大出力が2.1A、2ポートは合計4.8Aとなる。  
配線先端にはギボシ端子が設置されているため、接続が簡単

作業に使用する工具は以下の10点

- 電工ペンチ
- 検電テスター
- 端子類
- バーツクリーナー
- ウエス
- ビニールテープ
- 内張りはがし
- ラジオベンチ
- ラ切替
- 配線ガイド

▲作業に必要な工具類がこちら。電工ペンチや端子類は配線を延長したい場合に使用。電装D.I.Yにあると便利な電工ペンチや検電テスター、端子がセットになったターミナル＆ツールセットも用意（参考価格3100円前後）。エーモン配線ガイド（参考価格700円前後）は、ビル内などに配線を取り回す際に便利

[取材協力]  
エーモン工業  
☎0790・22・6262  
<https://www.amon.jp>

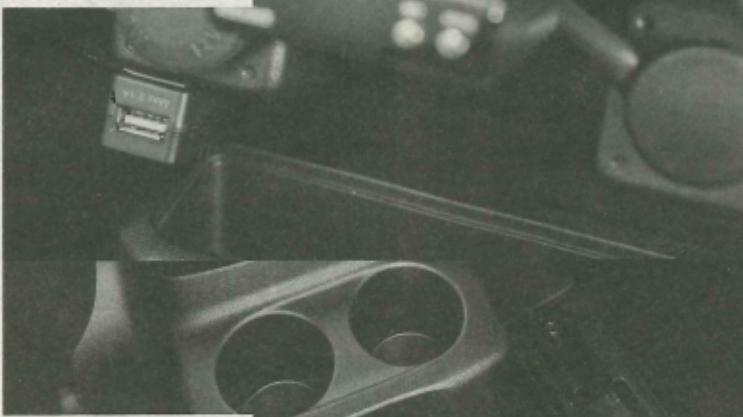
- ヒューズ電源  
(ミニ平型/平型/低背)  
オープン価格  
(参考価格400円～500円前後)

▲ヒューズBOXからの電源取り出しに便利なヒューズ電源。各種A(アンペア)数や低背/ミニ平型/平型の3形状をラインアップする

- ダブルコード  
(白黒)  
オープン価格  
(参考価格650円前後)

▲USB電源ポートの配線長が1mのため、後席に設置したい場合は配線を延長する必要がある。その際に使用する延長用コードがこれで、+/-が認識しやすい白黒カラーラ

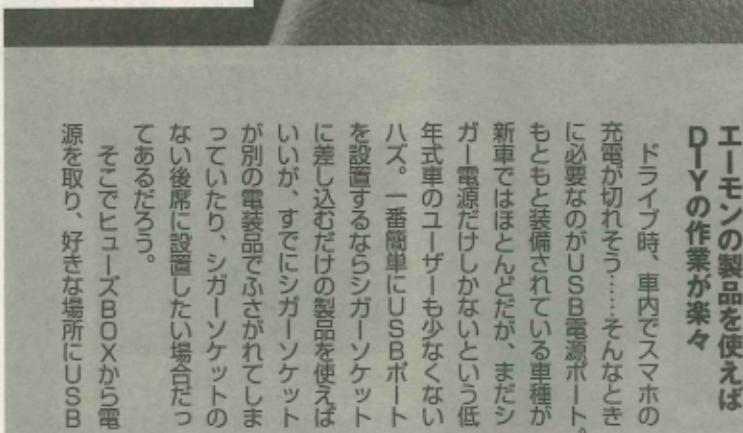
1列目乗員用に設置



2列目乗員用に設置



3列目乗員用に設置



**エーモンの製品を使えば  
DIYの作業が楽々**

ドライブ時、車内でスマホの充電が切れそう……そんなときに必要なのがUSB電源ポート。もともと装備されている車種が新車ではほとんどだが、まだシガーエネルギーだけしかないという往年式車のユーザーも少なくないハズ。一番簡単にUSBポートを設置するならシガーソケットに差し込むだけの製品を使えばいいが、すでにシガーソケットが別の電装品でふさがれてしまっていたり、シガーソケットのない後席に設置したい場合だってあるだろう。

そこでヒューズBOXから電源を取り、好きな場所にUSBポートを設置するのがポイントだ。

取り付け方はヒューズBOXから対象のヒューズを抜いてヒューズ留めに差し替えたうえで確実にアースを取る。その後USBポートを平つな場所に貼り付けて固定し、それらの配線同士をつなげば完成。なお製品の配線にはキボシ端子が同梱されているため、配線接続は簡単。なおUSBポートの配線長は1mとなり、後席に設置する場合は配線の延長が必要となる。

あたり前だが、USBポートは可動するコントロールやシートへの装着は断線のリスクもあるためNG。極力邪魔にならず、使いやすい場所で、かつ配線の取り回しがしやすいところに設置するのがポイントだ。

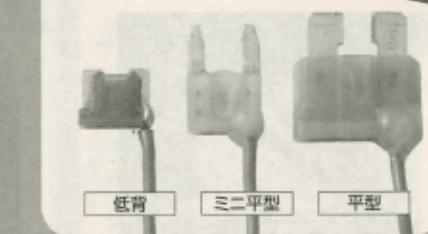
製品購入前に  
純正のヒューズの形状を  
必ず確認すべし

まず最初にヒューズBOXから今回電源を取るACCもしくはイグニッションのヒューズを探し、そのアンペア数を確認する。探し方は車両の取扱説明書もしくはヒューズBOXのカバーに記載されているのでそれを参照する。ヒューズには低背、ミニ平型、平型の3タイプがあるため、対象の純正ヒューズを外し形状を確認する。それと同形状かつ同アンペア数のヒューズ電源を選んで購入しよう

ヒューズBOXのカバー

車両の取扱説明書

純正低背ヒューズ



ポートを設置できる方法を紹介。使用するのはエーモン製の「USB電源ポート」や「ヒューズ電源」。USBポートは1ポートで固定。ヒューズ電源は純正ACC用もしくはイグニッション用のヒューズと差し替えることで、電源が取れるという簡単な仕組み。購入前に純正ヒューズのアンペア数と形状を確認し、同様のタイプを購入する。

取り付け方はヒューズBOXから対象のヒューズを抜いてヒューズ留めに差し替えたうえで確実にアースを取る。その後USBポートを平つな場所に貼り付けて固定し、それらの配線同士をつなげば完成。なお製品の配線にはキボシ端子が同梱されているため、配線接続は簡単。なおUSBポートの配線長は1mとなり、後席に設置する場合は配線の延長が必要となる。

あたり前だが、USBポートは可動するコントロールやシートへの装着は断線のリスクもあるためNG。極力邪魔にならず、使いやすい場所で、かつ配線の取り回しがしやすいところに設置するのがポイントだ。

# 取り付け作業を完全紹介!

09



ヒューズBOXまで取り回す

▲カーベットの隙間に配線を差し込み、電源を取ったヒューズBOX近くまで配線を取り回していく

10



アースポイントを探す

▲ヒューズBOX付近で、純正配線のアースが取られているポイントを探す

11



アースを取り

▲アースポイントのナットをいったん外し、USB電源ポートのクワ型端子を共締めする

12



配線を接続

▲USB電源ポートとヒューズ電源の配線を接続する。ここで一度、動作確認をしておく

完成

▼動作確認がOKであれば、外したパネル類を元に戻して完成

05



パネルを外す

▲まずはステップパネルを引っ張って外し、その後キックパネルを外す

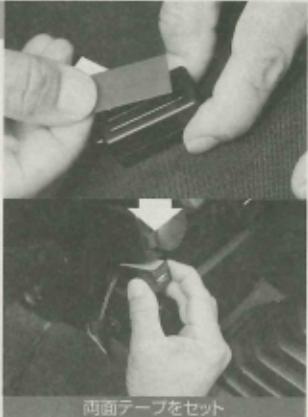
06



本体の位置決め

▲USB電源ポートを固定する位置を決める。なお撮影車両はジムニーだが、今回はセンターのスイッチパネル下に固定することにした

07



両面テープをセット

▲取り付け場所とUSB電源ポート本体をバツクリーナーを使って脱脂する。USB電源ポートに付属の両面テープを貼り付け、その両面テープでUSB電源ポートを固定する

13



配線を取り回す

▲パネルに沿わせて配線をフロア部分まで取り回す。その際、内張りはがしなどを使って、パネル内に配線を差し込んでいくと作業がしやすい(エーモンでも販売)

## 1列目に設置する場合

01



純正の該当ヒューズを抜く

▲前ページでも紹介したとおり、ACCかイグニッション用ヒューズを探し、ラジオベンチなどを使ってつまみながら引っ張って外す

02



検電テスターを準備

▲ヒューズは左右に端子があり、プラスとマイナスに分かれているので、どちらがプラス端子なのか検電テスターで調べる。テスターのクリップを車両の金属がむき出しになった部分にはさみ、ボディアースを確実にとる

03



プラス端子を確認する

ACCをONにしたあとに検電テスターをヒューズを外した部分の端子に当てる。このテスターの場合は光った方がプラスとなる

04



製品の「ヒューズ電源」を差す

▲「ヒューズ電源」を純正ヒューズを抜いた所に差しこむ。このときプラス端子側にコードがくるようにする。これにて電源は確保

14

## ステップ部を這はず

▲スライドドアのステップ部を前席に向かって配線を取り回す。配線は、純正配線のクリップにはさんでおくといい。

15

## 配線ガイド

## 配線ガイドを準備

▲次はピラー内に配線を取り回していくのだが、作業性を高めるにはエーモンの「配線ガイド」がオススメ。配線ガイドに取り回してきた配線先端を引っ掛け、外れないようにビニールテープなどで固定する

16

## ピラー内に配線を通す

▲「配線ガイド」を使いながら、ステップ部分から運転席側までピラー内に配線を通す

17

## 配線を接続する

▲取り回してきた配線とヒューズ電源の配線を接続する。いったん点灯試験をし、問題なければパネル類を元に戻せば完成

09

## 運転席のパネルを外す

▲ヒューズBOXからの電源の取り方は、右の1列目に設置する場合と同様なのでそちらを参考に。後席に配線を取り回すため、まずは運転席のステップパネルを外し、さらにキックパネルを外す

10

## ステップパネルを外す

▲撮影車両だったエルグランドの場合、後席のステップパネルを引っ張って外す

11

## USB電源ポートを固定

▲3列目壁面パネルにUSB電源ポートを付属の両面テープで固定する。貼り付け面は、バーツクリーナーでしっかり脂脂しておく

12

## ギボシを接続

◀USB電源ポートの配線と延長用配線をギボシ端子で接続

13

## ウェザーストリップを外す

◀USB電源ポートの配線をピラー内に取り回すため、周辺のウェザーストリップを引っ張って外す。ピラー内に配線を収納し、ステップ部分まで取り回す

07

## 根元側をかしめる

▲次に、配線コードの被覆にかかる部分をかしめる。こちらも[3.0]で仮縫め、[1.25～2.0]で本縫めを行う

08

## スリーブを被せる

▲端子をしっかりと圧着できたら、工程03で通したスリーブを端子に被せる

## 3列目に設置する場合

## USB電源ポート

## ヒューズボックス

▲作業前に配線の取り回し方を確認

▲3列目に設置する場合、「USB電源ポート」の配線が1mしかないため、配線を延長する必要がある。撮影車両はエルグランドでヒューズ電源が運転席側にあるため、配線はそこからドアステップ部を通して、3列目の壁面へ。まずはそのおまかなか流れを理解しよう

## USB電源ポート

## カットしたUSB電源ポートの配線

## 配線作業の全体像を把握

▲配線作業のやり方はこの写真を参考に。USB電源ポートの配線をカットし、準備した延長ケーブルで延長する仕組みだ

## 05 配線コードの被覆にかかるように

## 芯線にかかるように

## 端子を差す

▲配線先端に端子を差し込む。端子にはツメが2つあり、1つは芯線にかかるよう、もう1つは被覆にかかるよう差し込むのがポイント

## 02 USB電源ポートの配線をカット

▲USB電源ポートの配線を延長するため、十倒も一倒も電工ペンチを使って配線をカット

## 03 スリーブを通して

▲まずは芯線にギボシ端子用のスリーブを通して。オス用、メス用を選べないよう注意

## 04 被覆をむく

▲電工ペンチを使って、配線先端の被覆をむく

## 2列目専用に設置する場合は…

センターコンソール後端にUSB電源ポートを設置したい場合は、写真のように配線を取り回すのがオススメ。今回のように電源が取れるヒューズBOXが運転席側に設置されている場合はカーペットの下を通すなど、絶対に運転に支障がないようにするのがポイント



## 2列目に設置する場合